

学年  
通信

# 魂知輪

令和6年 12月9日  
第 34 号  
小代中学校3年生  
発行者:梅谷俊平

## 世界中の誰よりきっと

私が生まれた次の年に発売された曲でした。みなさんは見たことがないのではと思うのですが、8cmのCDを父親が車に積んで、いつも流していた小学生の頃の記憶が残っています。80~90年代に流行った曲を、レンタルショップで借りてきてコピーし、勉強の際のBGMとして流していました。(個人利用なので著作権違反にはなりません)最近の曲が悪いというわけではありませんが、昔の曲のほうが、落ち着いて学習に取り組めたので(知っている曲や好きな曲を流すと、どうしても気持ちが曲の方になってしまう)生まれる前に流行った曲ばかり聴いていました。

クリスマス向けのパーティー感が欲しいというプロデューサーの一声がきっかけで、バラード調だった曲が8ビートのアップテンポの曲調にアレンジされたそうです。

みなさんは、この曲を耳にしたことがあるでしょうか。おそらく、サビはCMなどで聞いたことがある人がいるのではないかと思います。イントロクイズをした時に、5年前、10年前の曲よりも、20年、30年前の曲の方が知っている曲が多いのはなぜだと思いますか。それは、音楽の「形式」によるものが理由の一つです。今流行っている曲はAメロ、Bメロ、Cメロ、Dメロ、1サビ、2サビ、大サビ、のように曲によっては色々な要素が組み込まれています。一言でいえば複雑なのです。ですが、昔の曲は、Aメロ、Bメロ、サビしかありませんでした。曲の構成が非常に単純だったのです。だから、聴き手にダイレクトに曲が入り、強いインパクトから、人の心に残っているのではないかと思います。

『世界中の誰よりきっと…』に続けて、自分自身に問いかけてみてください。これだけは負けないぞ!これなら他人にも誇れる!というようなことはありますか。人それぞれ輝く場所や瞬間、内容は違います。私は、世界中の誰よりも幸せに毎日を過ごしている自信があります。他人にとっては大したことの無いことでも、楽しいと思えたり、嬉しいと思えたりすることがたくさんあればあるほど、幸せになっていくのかなと思います。この曲を聴くたびに、そんなことを考えています。

## 人権週間が人権習慣になるように

12月10日は世界人権宣言が国連で採択された日です。先日、人権作文やポスター、標語の優秀作品の表彰があり、3年生も3人が選ばれ、表彰を受けました。堂々とした返事、表彰を受ける姿、素敵でした。

第1条 みんな仲間だ。わたしたちはみな、生まれながらにして自由です。ひとりひとりがかけがえのない人間であり、その値打ちも同じです。だからたがいによく考え、助けあわねばなりません。

人権宣言を、誰もが分かりやすく理解できるように、日本語に訳し『やさしい日本語で読む世界人権宣言』を詩人の谷川俊太郎さんらが、発表しました。上にその第1条を載せましたが第30条まであります。ここには全て載せられないので、一度目を通してみてください。

人権週間は、10日で終わりますが、終わったからといって、意識をしなくてよいわけではありません。逆に考えれば、週間を設定するのではなく、常に心のどこかで、頭のどこかで、意識をして過ごすことが大事なのではないかなと思います。

